

とも□□□□なものかどうか、□すぐ□に□きなさい。

□□□たちは□□しなければならぬ。なぜトラーがイスラエルの□□に□□に□えられ、□□□□での□□に□□に□えられなかったのか。そこには、あつてはならない□□□□が□まれているのか□もちろんそのようなことはない。□□□□たちはこの□いを□□した。そしてこれが、□らが□の□□□ Avoda Zarah
2□で□えようとしたことである。「□はそれを□ての□と□□にもたらした。そして□らはそれを□け□れなかった。」

しかし□らが□□□に□つたのは、□の□がそれを□しなかったのなら、そのときなぜ□々は「あなたの□、□はあなたを□び」□□□□7:6□と□かれているように、「□ばれた□々」と□ばれたのか□さらに□□□な□□として、クリエイターがそれらの□□な□□と□□するために、□□ら、その□□に□の□□を□ってやって□たなんてことがありえるのだろうか□そんなことは□いたこともなく、□く□け□れがたいことである。

□□しかし、□々に□えられたトラーとミツヴオットの□□や、その□められた□□を、□□たちから□わったレベルまで□□に□□するとき、つまりこの□の□にある□□な□□の□□を□□するとき、□々は□てを□るだろう。なぜなら□□のない□□は□□しないというのが□□の□□だからである。□も□いレベルの□□や□□を□いて、この□□に□□はない。そのため□□らかにクリエイターは、その□□さが□□を□えており、それが□□な□□であろうとも、□さな□□であろうとも、□□もなしに□□を□うことはない。

□□□はこれに□して、□□はトラーとミツヴオットを□□するためだけに□られた、つまり□らが□したように、□が□□□を□み□した□から、その□□はゴドリネスを□々に□かすことにある、と□つている。これは□のゴドリネスの□□が、□□らしい□□として□□□に□き、さらにそれは□ましい□きさになるまで□□し□けているからである。

そしてそれにより、□き□は□の□□を□って□□し、□□□な□□、「あなたの□に、□を□に□たことはない」□イザヤ□64:3□へと□るまで、□に□かい、□と□□するための□□□□ chariot□となる。そしてその□□さと□□さの□□ゆえに、トラーや□□□にも□□した□□は□のひともない。□□はこう□つている。「□ての□□□はメシアの□のためだけに□□をした。しかし□□においてもまた、あなたの□に□を

「することはなかった」 Berachot 34

この「さ」は、トーラーや□□□□の□□、そして□□たちの□□の□□で、Dvekut□□□□というひとつの□□の□□に□□されている。しかし□□がこの□□を□□うとき、□□□□にその□□のほとんど□□てが□□われてしまっている。しかしそれでもあなたが、ほんの□□しでもこの□□をじっと□□じるのであれば、その□□くべき□□さに□□されるであろう。それはあなたがクリエイターの□□さと□□□□の□□さを□□い□□くからである。そのとき、あるものが□□のもの□□に□□にいるというDvekutの□□を□□じることができ、そして□□々がこの□□が□□□□の□□を□□している□□と□□えている□□を□□するであろう。

□□らがクリエイターとの□□□□によって□□われるまで、その□□さ□□□□がトーラーとミツヴオットを□□□□することによって□□えず□□し□□していくこと、それが□□□□の□□だということがわかる。

□□しかしここに、カバリスト□□がやってきて□□う。なぜ□□たちは□□からこの□□という□□い□□を□□つて□□されなかったのか□□□□に□□わるこの□□、トーラーとミツヴオットで□□たちを□□しませなければならぬ□□はどこにあるのか□□らはこう□□えた。「□□□□のものでないものを□□べる□□は、□□の□□を□□ることを□□れる。」これは、□□の□□を□□し□□しむ□□は、そうすることで□□の□□を□□うまでに、ますます□□ずかしくなるため、□□の□□を□□ることを□□れる、という□□である。□□の□□さから□□ているものに□□はありえないため、□□は□□たちに、トーラーとミツヴオットにおける□□を□□して、□□らその□□さを□□に□□れる□□を□□えたのである。

これらの□□は□□も□□なものであり、□□は□□に□□Panim Me'irov uMasbirot to the Tree of LifeのBranch One、そして
 The Study of the Ten Sefirot
 のInner Reflection, Part Oneで□□している。ここで□□は□□ての□□が□□できるように□□□□に□□する。

□□これはある□□な□□が、□□から□□を□□れてきて、□□に□□□□を□□え、□□や□□や□□しいもの□□てを□□□□えているようなものである。その□□は□□□□に、その□□よりもより□□くのギフトを□□えた。そしてその□□な□□はついに□□った。「□□えてください。あなたの□□みは□□て□□いましたか□□」□□は□□えた。「□□の□□み□□の□□てが□□たされたわけではありません。もしも□□が□□□□の□□□□でこれらの□□□□な□□々□□の□□てを□□にしていたなら、それはとても□□□□らしく□□しいことだったでしょう。あなたがそれらを□□□□にしたように。そして□□はあなたからの□□しを□□けることはなかったでしょう。」するとその□□□□な□□は□□いまし

た。「だとしたら、あなたの□みを□えることのできる□は□して□□しないでしよう。」

これは□□の□□であり、□はたくさんのプレゼントを□け□れば□け□るほど、□きな□きな□びを□
□するが、その□□で、そのお□□ちが□に□える□□なまでの□□さに□ずかしさを□じずにはいられな
い。これは、□□□の□□や□れみを□してギフトを□け□る□は、□や□□ちを□じるという□□□□が□□す
るからである。

ここから□□□の□□がやってくる。すなわち□□の□□を□□に□たすことは□にもできないということ
。なぜなら、□□□に□は□□さという□□や□□を□ることはできず、それがあって□めて□めていた□□
さへと□□ることができるからである。

しかしこれは□□□にのみ□□することであり、クリエイターにとっては、そんなことは□くありえ
ず、あってはならないことである。このため□は、□々が□□の□で□らの□□さを□み□せるように
、トラーとミツヴオットという□□を□□したのだ。なぜならその□で□からやってくる□びや□□
、つまり□とのディビクト□□□□に□まれる□てが、□で□らの□□で□にした□□□□□□になるからであ
る。そうして□々は□らを□□□と□じる。これが□ければ、□□□の□□は□られないのだ。

□□□□々はこの□□□□の□□、その□を□べる□□がある。そして□□からの□しを□けるときに□じる□
ずかしさやもどかしさといった□□を□が□み□したのか□それは□□□□が□□している□□からわかる
。□□はその□と□じ□□を□ち、その□もまた□の□での□□から□し、□め、□□し、そこから□□を□る
。□に□に□□しない□ての□□に□して、□は□らを□ち□し、それらに□えることもできず□を□ける。
この□□はそれぞれの□と□の□に□□し、□られることはない。

さてここで、この□□における□ての□びと□しみの□□を□□するために、□の□のひとつの□を□けよ
う。クリエイターは□□□の□□であるため、□々は□の□に□□するもの、□から□□□□にやってくるも
の□てを、□びや□しさとして□じる。それは□々の□□が□々の□と□□っているからである。□の□に
□□せず、□から□□□□に□びてきているわけでもなく、□□□□に□□するもの□ては、□々の□□に□して
おり、□々がそれに□えることは□しい。こうして□々は□□を□み、□くことを□□に□う。つまり□
々は、□□が□られないのであれば□□も□かないのだ。その□□は、□々の□が□□□□□□でも□□であり、
□の□にどのような□きも□□しないからである。それ□これは、□々の□□に□し、□々にとって□ま
わしいものとなる。

□□に□たちは、□さ、□さ、□かさなど□□に□み、その□□は、□々の□□である□の□に、その□てが□□していることにある。そのため□たちは、その□□である□かさ、□さ、□□といったものを□い、それは□々の□にそれらが□く□□していないからである。このことが□々に□□□□や□□の□さを□じさせ、□り□れないほど□々を□しめている。

□□□これが、□々が□しと□う□で□□から□け□るときに、□しさやもどかしさという□い□□を□み□している。クリエイターの□には、□り□を□け□るというようなものは□□しないからである。□は□からも□け□らない。そしてこの□□が□に□□しないため、□々はそれをとても□な□□の□いものとして□じる。□□□々が□□に□えるときは、□に□ず□びや□しさを□じる。その□□は□に□□し、□は□ての□□に□えているからである。

□□□ここで□たちはその□の□で、□に□□するという□□の□□を□□する□□を□□した。この□□な□□やデヴィクットは、トーラーとミツヴオットにおける□□を□してやってくることが□□されており、それはその□と□の□□□□□□の□□でもない。□しさ、□び、そして□□さの□ては□□にここまで□びてきており、これまで□したように、□びとは□□□□□□との□□の□□□□である。そして□々が□ての□□において□と□じようになるとき、□々は□びを□じる。

また□々が□に□□しないものに□□うと、この□□に□って、それらは□て□え□く、□□□やひどい□みを□うものとなる。そして□々は、□々の□みがまさに□との□□の□□□□の□□いにかかっているのだと、□□に□□する。

□□□これらは□□□が「なぜクリエイターは、□による□□がその□でなのか、それとも□の□ろであったのかを□にしているのか□」と□ねたときの□□であった。□□□□ Rabba 44□□□□ ミツヴオットは、□々の□□、□った□□を□めるためだけに□えられており、この□□は□てのトーラーとミツヴオットに□□することで□□する。

「□□のロバが□として□まれるだろう」□ヨブ□11:12なぜなら□が□□の□から□まれるとき、□は□□に□□した□きものとして□まれるからである。つまり□の□には□□の□□□□が□め□まれ、そこには□□への□□の□□すらなく、□ての□きが□□□□を□□に□いている。

このように、その□□で□は□から□も□く□れた□□□の□□に□□している。なぜなら□とは、□かな□け□りすらない□□な□□だからである。ところが□□□は、□□の□□すらない□□な□□□□の□□であり、そのため□は、この□□□□において□も□く□したところにいると□えられる。

□は□□するにつれて「□□への□□」という□□を□□の□□から□け□るようになる。それはその□□の□□と□□□□によって□まり、その□で□は□□□のためにトーラーとミツヴオットを□□することを□わる。□は□□を□えることができないため、それはこの□と□の□での□□のためであり、それはローリシュマ□□□の□のためではなく□と□ばれている。

さらに□が□□すると、□はトーラーとミツヴオットをリシュマ□□□の□のために□で□□することを□ぶ。それは□□□を□たすことだけを□□した□□である。ラムバムはこう□った。「□□と□□にトーラーとミツヴオットをリシュマで□□せよと□ってはならない。□らはそれに□えることができない。しかし□らが□□し、□□と□□を□るとき、□らはリシュマで□くことを□えられる。」□々の□□たちは□のように□った。「□はローリシュマからリシュマへと□る。」それは□□□を□たすという□□によって□□されており、どのような□□□のためでもない。

トーラーとミツヴオットにリシュマで□□するという□□なレメディを□して、トーラーの□□□はこれを□っており、□々の□□たちは□のように□いた。「クリエイターは□う、『□は□□な□□を□り、そのためにスパイスとしてトーラーを□った』」□□Kidushin
 30b□このように□□□は□□し、□に□した□□な□□レベルへと□き□み、それは□りの□□□が□□になくなるまで□く。そして□の□□にある□てのミツヴオットが□□し、□は□ての□□を□□のためだけに□う。そうして□が□け□っている□□ですら□□に□かって□れていき、□は□□することが□□となる。だから□々の□□たちはこう□った。「ミツヴオットは□々を□□するためだけに□えられた」

□□□トーラーには□つの□□がある。□□□と□の□のミツヴオット、□□□と□の□のミツヴオット。これらは□□とも□じもの、つまり□とのデヴィクットという□□□な□□へと□□□を□れて□くことを□□としている。

さらにそれらの□□□な□□ですら、□□ひとつの□□じものである。なぜなら□が□□□を□く□ぜることなく、つまり□□の□□を□く□すことなくリシュマの□□を□うとき、□を□するために□くことと、クリエイターを□するために□くことの□に、どのような□いも□じないからである。

これがそうである□□は、それがあらゆる□□にとって□□な□□であり、□は□□の□□の□□にあるものを、□で□□□□で□□なものとみなすからである。そして□□を□するために□が□み□すあらゆる□□は、□□する□や、やがて□のところに□り、□の□□のために□□する□□をもって□われる。このように、そうした□□は□□を□で□□しているため、「□□への□」とみなすことはできない。それは□□□□いで□□しているようなことであり、その□すという□□は□□への□とはみなされない。

しかし□□□のスパークが□くなければ、そしてその□□□□が□たされることを□く□□しなければ、□□への□の□□として□□する□□は□□□□に□□□□である。それについてはTikkuney Zoharに、□□の□々に□してこう□かかれている。「□らが□うての□き□□いは、□ら□□のためにしている。」

つまり□に□しても□に□しても、□らの□い□□の□ては、□□への□ではなく□□□□への□ゆえに□われている。その□□は、それが□□に□□に□することだからである。

そのためトーラーとミツヴオットを□る□だけに、その□□が□えられる。なぜなら、□□□を□ばせるために、トーラーとミツヴオットを□□するように□□を□□づけることによって、□らは□□□の□□という□□くから□々に□れ、□□の□□である□□への□を□□するからである。

だからゾハールの□□□は、「□らが□う□き□□の□ては、□□のために□□っている」と□って、□□の□々を□らが□する□□から□□した。その□□は、□らがトーラーとミツヴオットをリシュマで□ることによって□わっておらず、□らが□に□える□□の□□が、□□や□□における□□や□□だからである。このように、□らの□への□□もまた□□□□から□ており、□らは□□の□□の□□にある□□を□して□なわない。その□□□□□□を□えて□らを□ち□げるとは、ほんの□□しもできないのだ。

に□する□□がある。」これは□□に□□□□に□える。あなたが□く□らない□が□を□して□□□を□らせる
とき、クリエーターがあなたにその□□を□う、そんなことがありえるのだろうか□こう□かれて
いる。「□は□のゆえに□されるべきではない。…おのおの□□の□のゆえに□されるべきである。
」□□□□□24:16□□のことも□の□□□も□らない、そんな□□に□□らぬ□の□に□してですら□□がある、
どうしてそんなことが□えるのか□

これでもまだ□□□ならば、Masechet
Kidushin,p40bを□ること。『ラビ・エラザール、ラビ・シモンの□□は□う。「□□は□□□□によって□□
され、□□もその□□□□によって□□される。そのため、もしも□が□つのミツヴァを□□したなら、□
は□せである。なぜなら□は□□□□に□の□という□□を□したからだ。しかしもしも□が□つの□を□し
たなら、□は□□するであろう。なぜなら□は□□や□□□□に□の□という□□を□したからである。「□□
の□□は□く□の□を□□する」と□われているように。』

ラビ・エラザール、ラビ・シモンの□□は、□□□の□□を□に□わせた。なぜなら□は、□□□□ての□々が□
いに□する□□を□ち、□□が□□の□いを□して□□□□に□もしくは□を□んでいる、と□っているからであ
る。これには□□□かされる。

しかしここまで□してきた□□によれば、□らの□□は□□にシンプルに□□できる。□々が□したのは
、トーラーにおける613□のミツヴオットは、それぞれがたった□つのミツヴァを□□に□□してい
るということ。つまり「□の□を□の□く□せよ」である。そして□てのメンバーがそれに□□する□
□な□□においてのみ、そのような□□が□□となることがわかる。

□□11□ヘブライ□の「Klal」という□□は、「□□」と「□□」の□□の□□を□つ。

Yehuda Leib HaLevi Ashlag (Baal HaSulam)